

## 令和6年5月上旬の果樹巡回調査結果の概要について

### 【東北信】 巡回日 5月2、7、8、9、10日

#### 1 りんご（16ほ場）

(1) 黒星病の発生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）では、3月25～31日に黒星病子のう胞子の飛散が確認されている。防除間隔をあけすぎないように生育ステージに合わせて、また降雨状況等を勘案して定期的に防除を行う。

#### 2 もも（7ほ場）

(1) 灰星病による花腐れの発生はみられなかった。

(2) 縮葉病の発生は、東信地域の1ほ場でみられ、発病花そう率は0.5%であった（図1）。

(3) ナシヒメシンクイによる芯折れの発生はみられなかった。

(4) モモハモグリガによる被害葉、カメムシ類による被害果はみられなかった。

(5) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。

(6) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。



図1 モモ縮葉病の発生葉（東信地域）

#### 3 うめ（2ほ場）

(1) ウメ輪紋ウイルス（PPV）の発生はみられなかった。

(2) アブラムシの寄生はみられなかった。

(3) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。

(4) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

### 【中南信】 巡回日 5月1、2、7、10日

#### 1 りんご（11ほ場）

(1) 黒星病の発生はみられなかった。

#### 2 なし（9ほ場）

(1) 赤星病の発生はみられなかった。

(2) 黒星病の発生はみられなかった。

(3) 黒斑病の発生はみられなかった。

(4) アブラムシ類（ユキヤナギアブラムシ）の寄生が、南信地域の4ほ場でみられた。

#### 3 もも（3ほ所）

(1) 縮葉病の発生はみられなかった。

(2) ナシヒメシンクイによる芯折れの発生はみられなかった。

(3) モモハモグリガによる被害葉、カメムシ類による被害果はみられなかった。

(4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。

(5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

#### 4 うめ（2ほ場）

- (1) ウメ輪紋ウイルス（PPV）の発生はみられなかった。
- (2) アブラムシの寄生は、全てのほ場でみられた。
- (3) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (4) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

#### 【侵入警戒病害虫】

- (1) りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はみられなかった。
- (2) ぶどうの調査ほ場において、*Xylella fastidiosa* (Xf) の発生は、みられなかった。

#### 【その他】

- (1) マイマイガについて

調査ほ場で、りんご、なし等の花そうを確認したが、幼虫の発生はみられなかった。幼虫の発生がみられた場合は、状況に応じて薬剤防除を行う。